



国際ロータリー第2740地区 長崎北東ロータリークラブ

2022~2023年
週報第11号
(通算2231号)
例会:令和4年10月19日

会長挨拶 副会長 高木 哲郎



ご用心！ 「旨い魚にもトゲが有る」

本日は職場訪問として総合水産試験場に伺いました。水産試験と云えば魚類等の研究所と勝手に判断し、本日は石橋会長の代打として、巷で伝えられている魚の話をさせて頂きます。高級なウナギ料理店に行くと、注文を聞いてから焼き始める為、かなりの時間待たれます。その間にウナギの刺身でも持って来てくれればいいのですが、どこへ行っても見かけません。刺身にすると余程まずいのかと思っていたら、そうではなく出せない理由が有るからだそうです。あまり知られていないのが生のウナギには毒が有り、ウナギの仲間のアナゴにも毒が有ります。毒が有るのは血の上澄と云われる血清とそれから粘膜です。ウナギの血清に含まれているイクチオトキシンという物質は、目に入ると結膜炎、皮膚に触れると皮膚炎、そして生のまま食べた場合には下痢・血便・嘔吐等を引き起こすそうです。その血清より更に猛毒なのがウナギの粘液です。加熱しないまま大量に摂取すると死ぬ場合もある為、ウナギに触るときは手に傷が無い事を必ず確かめるようにしたいものです。それ程の毒を持つ魚を食べても大丈夫なのかと不安を感じる人もいるでしょうが、ご安心を！ウナギやアナゴの毒は熱にとても弱く、60度で5分以上加熱すれば完全に消えてしまい、しかもウナギにはアスパラギン酸・グルタミン酸・グリシン等の良質タンパク質が大量に含まれている為、加熱するとメチャおいしくなるそうです。毒ついでの話ですが、皆さん良くご存知だとは思いますが、フグの毒「テトロドトキシン」は強力です。同量の青酸カリの600倍の強さで、わずか0.5ミリグラム有れば30人を殺せると云われます。これは知覚神経や運動神経麻痺と同時に呼吸をも麻痺させます。大きな体の人間もイチコロなのですから、当然他の魚もあの世行きです。シャチやイルカと云った大型の哺乳類もまず助かりません。ただし、海の動物でもフグを食べてケロッとしている連中がいます。何だと思います？神経や感覚を司る器官がない動物、つまり下等動物です。タコ・イカ等の軟体動物、ナマコ・ヒトデ等の棘皮動物、貝類等にフグの毒が有る卵巣や肝臓を与えても麻痺・中毒する事は有りません。と云う事は、神経が無ければ、何も感じ無いからなんそうです。ちなみに世の中には無神経と呼ばれている人もいるようですが、当然、無神経と云われていてもその部位を食べるとオダブツです。逆に、我がクラブにもとても恐れ多くて名前は申し上げられませんがラグビーで鍛えられこの世に敵無し風な武闘派とて名を馳せる図太い神経の持ち主の方もいらっしゃいますが、いくらどんなに神経が図太くても当然毒には堪えられないと思います。どうぞ呑々もお気を付けて下さい。



【幹事報告】

●例会休会 長崎西RC 11月1日(火)

長崎出島RC 11月4日(金)

例会変更 長崎西RC・長崎みとRC

11月15日(火) 合同例会

18時30分～

サンプリエール

長崎西RC 11月22日(火) 職場訪問

幹事 南里 敏洋

NCC長崎文化放送



●10月15日(土)「長崎北東RC杯少年ソフトボール大会」が、時津町南公園で開催されました。応援に参加された方々お疲れ様でした。

●10月25日(火)、17時～ アストピア

「創立50周年記念事業役員会議」を致します。参加予定の方は宜しくお願ひいたします。

今後の
予定

●10月26日(水) 県政出前講座

「Nagasaki Revolution 4.0」

●11月2日(水) 創立50周年記念事業クラブ会議

●11月9日(水) 休会

ニコニコBOX

南里:本日は、長崎水産試験場様、お世話になります。よろしくお願ひ申し上げます。



ニコニコ発表
馬場崎会友

下川:今回、初の職場体験です。少年の気持ちで勉強していきます。

田中(徳):来週、50周年会議に参加の皆様、よろしくお願ひ致します。

三原:本日の長崎県総合水産試験場の職場訪問、楽しみにしております。

森(正):本日は総合水産試験場での職場体験です。みなさん楽しく勉強しましょう！

小計: 5名／¥9,000

累計: 149名／¥351,000

委員会報告

創立50周年記念事業実行委員長 久保田和典 長崎北東RC創立50周年記念事業の役員会議を、10月25日(火)17時から行います。お弁当のご用意を致します。

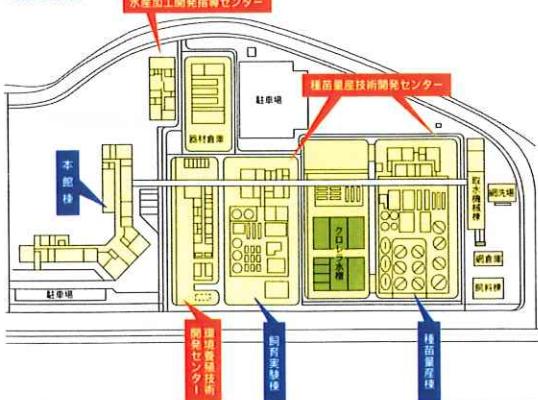


職場訪問 長崎県総合水産試験場

長崎県総合水産試験場 Marine Labo Nagasaki



施設の配置図



漁業資源部

海洋資源科

水産資源を効率的に利用することを目的として、重要な資源の資源状況を把握するための調査研究を行うとともに、漁業支援のための海況情報等を提供しています。また、漁場の有効利用に資する定置網・魚礁等の開発を行っています。

更に、大学・機関などと連携し、海況予測などの新たな海況情報を開発にも取り組んでいます。

栽培漁業科

トラフグ、ホシタラバ、ガザミ、ナマコなど沿岸重要資源について「栽培漁業」により効果的に推進するために、適正放流サイズや適正放流時期等最適放流手法の開発や放流効果の解明を行っています。

種苗量産技術開発センター

魚類科

クロツブロ新角魚の稚苗生産技術の開発に取り組むとともに、種苗生産技術等への情報提供・技術指導を行っています。また、市場価値の高い子貝を持つ種苗・トラフグを生産する全種々トラフグの生産技術を開発し、現在、その種苗の販売に取り組んでいます。

さらに、ゲノム情報を活用して、白子早熟等、優良な形質を持ったトラフグの育成に取り組んでいます。

介離類科

真珠・マガキ・タイラギなどを対象とした効率化技術開発を行っています。また、温湿度に適応した有用藻類の増殖技術や藻類育成技術のための技術開発を行っています。

管理部 総務課 嘴託 中村彰太郎様が、施設の説明をして下さいました。



役割

長崎県総合水産試験場は本県の水産業振興基本方針である「長崎県水産資源開拓計画」に沿って実施される具体的な施策を技術的側面から支援するために、資源管理型漁業の推進や漁業の振興、水産加工業の育成・強化等に関する技術課について、試験研究を行っています。

また、「開かれた水試場」として、最新の設備を広く開放し、水産業界の要望に即した試験や産学連携による共同研究等を積極的に行ってています。

沿革

昭和33年(1958) 在原町(現・佐世保市)に長崎県水産試験場を開設。
昭和44年(1969) 長崎市に本社を移転。
昭和46年(1971) 西日本農業技術研究所に移管。
昭和48年(1973) 長崎市新田町に移転。
昭和55年(1980) 西日本農業技術研究所セントラル試験場を開設。
平成15年(2003) 長崎県水産試験場と合併して水試場の所管となる。
平成18年(2006) 1月に長崎県水産試験場と合併して水試場の所管となる。
平成23年(2011) 水産庁が監修力の委託となる。
平成30年(2018) 財團法人長崎県水産技術センターへ移管。

施設の概要

敷地	敷地面積	約44,600m ²
建物	建物面積	約14,600m ²
日本 棚	2階	4,040m ²
洋洋資源	平家	637m ²
漁業資源部	平家	559m ²
栽培漁業科	平家	2,430m ²
種苗量産技術開発センター	平家	3,720m ²
魚類科	平家	844m ²
種苗量産技術開発センター	平家	270m ²
介離類科	平家	239m ²
水産加工開発指導センター	平家	239m ²
施設技術開発センター	浮き橋棟	
施設技術科	海上用	

管理部・企画開発推進室

施設課・調査船

試験場の運営運営及び車両や調査船「鷹丸」の運行管理等を担当しています。また、来場者に対して、施設案内や長崎県の水産業についての紹介などを行っています。

調査船「鷹丸」は、平成 21 年 10 月に進水した 99t の調査船(監視船)で、株式会社企画にて、東洋製紙や資源開拓、漁業開発会員などをています。搭載する主機関はディーゼル 1300 馬力で、巡航速度 12.5 ノットです。

企画開発推進室

「開かれた長崎水試」をめざして、漁業開拓の二つ以上の技術や研究機器との連携により、効率的な試験研究・技術開発に努めています。

また、得られた成果や漁業技術はホームページで発信する等で、一般の方々への啓発を図ると共に、関係者への技術移転も進めています。

水産加工開発指導センター

加工科

本研修会場の開催を目指して、多様化するニーズに対応した水産加工・流通技術の開発や改良を行うとともに、水産加工業者が行う製品の開発や改良を技術的に支援しています。

- 本研修会場の特徴を活かした加工・品質保持、未利用資源の有効利用などに関する新しい技術を開発するための試験研究を行っています。
- センターの施設や機器を複数（オープンラボ）した製品開発の支援、加工技術講習会の開催、技術相談への対応、技術情報の提供などを行っています。

環境養殖技術開発センター

養殖環境科

赤潮の発生原因の究明や魚介類への赤潮対策技術の開発、干潟等でのアリの生息環境技術の開発や養殖魚類などの環境保全に関する調査・研究を行っています。また、赤潮対策を開始事業者へ発信しています。

養殖技術科

収益性が高い養殖業を実現するため、汚水の輸出または回収販売において、競争力のある養殖魚種を高品質かつ低コストで安定生産するために必要な養殖技術の開発や、魚病の診断・対策等の指導・研究を行っています。

司会／早崎 悟

写真撮影／尾野美佐恵

創立／昭和49年4月30日

承認／昭和49年5月22日

例会日／毎週水曜日12：30～13：30

例会場／長崎新聞文化ホール「アストピア」

事務局／長崎市目覚町8-11-301

TEL843-6635/FAX845-9411

URL <http://herotary.org/>

	全員総数	Home Club出席数	Home Club欠席数	Make-up	免除者	修正出席率	出席率
10月5日	38	26	10	0		72.2	
10月19日	38	16	17	5		48.5	

月間出席率	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	76.2	83.8	83.8	78.7	80.6	77.8	80.6	0	78	78.1	72.6	82
本年度	75.9	74.3	80.8									

